

1. 関東地方整備局の取り組み状況

これまでに実施した分析試験結果について

	計	材料が基準値を 満足している	材料が基準値を超過している		
			土壌の基準値超過	地下水への影響	
調査を行った 工事の施工箇所	65	38	27	5	0

※ 材料が基準値を超過している工事の施工箇所には、材料が基準値を満足している工事の施工箇所が含まれているものもある

- これまでに『鉄鋼スラグを含む砕石が使用された平成20年度以降に施工した45工事の施工箇所』と『鉄鋼スラグを出荷した記録があることが判明した工事の施工箇所および鉄鋼スラグと類似する材料の混入が認められた工事の施工箇所を合わせた56工事の施工箇所』の計65工事の施工箇所(このうち36工事の施工箇所については重複)について、有害物質の含有量等を確認する分析試験等を実施した。
- 38工事の施工箇所においては、材料の分析試験の結果、基準値を満足していた。
- 27工事の施工箇所においては、材料の分析試験の結果、基準値を超えていた。
- このうち5工事の施工箇所においては、材料直下の土壌の分析試験の結果、基準値を超えていた。
- なお、この5工事の施工箇所については、群馬県環境森林部および前橋市環境部において地下水の調査を実施したところ、地下水への影響は認められなかった。

鉄鋼スラグを含む材料が環境基準値を超過している工事の施工箇所

	計	撤去予定	表面被覆する	表面被覆済み
材料が基準値を超過している工事の施工箇所	27	10	9	8

- 材料の分析試験の結果、基準値を超えていた27工事の施工箇所のうち、10工事の施工箇所については、将来にわたり管理できない箇所等であることから撤去する方針とする。
- 撤去以外の工事の施工箇所のうち、9工事の施工箇所については、材料が露出しているため、群馬県環境部森林部の助言を得て表面を被覆する方針とする。準備が整い次第、着手する予定である。
- 残り8工事の施工箇所については、材料が舗装等により被覆されているため、存置する方針とする。

1. 関東地方整備局の取り組み状況

対応状況について(平成27年10月末時点)

	計	撤去完了	撤去中
撤去を行う 工事の施工箇所	10	5	5

- 撤去する方針としている10工事の施工箇所のうち、5工事の施工箇所については既に撤去が完了している。
- 撤去中(撤去に向けた準備を含む)の5工事の施工箇所については、今年度中に撤去を完了させる予定である。